

京都府立南丹^{なんたん}高校で出前授業

1月12日（木）京都府立南丹高校において、2年生21人を対象に出前授業を実施しました。

南丹高校では、「総合的学習の時間」における選択授業の一つとして、「地域探求講座」を開設しています。これは、学校周辺の防災マップを、大学や亀岡市と協力して作成・発表することを目的とし、これまでにフィールドワークを通して、危険箇所や避難場所等を地図にプロットする作業を行ってきました。亀岡市は水害多発地帯であることから、日吉ダムの防災への役割を学ぶ目的で、今回の出前授業が実現しました。

講座では、平成23年の台風襲来時の洪水調節操作を中心に、日吉ダムの目的、概要について解説しました。高校生には少々難しい内容でしたが、日吉ダムが水害の被害軽減に役立っていることがわかったといった感想が寄せられました。また、授業には、校長先生も聴講され、大変興味を持たれていました。

今後も、日吉ダムをより理解していただけるよう、このような機会を有効に活用していきたいと考えています。



授業の状況



生徒からの質問への回答